



# 磐二小だより

磐梯町立磐梯第二小学校  
令和4年11月21日  
第 15 号  
発行責任者 近野 典男

☆教育目標「自己を拓き、共に生きる、健康で品性の高い子ども」

○自分から学びます ○共に磨きます ○互いに鍛えます

【スローガン】キラキラとひとみが輝く二小の子ども

## 磐梯二小ワークショップ2022を開催しました

11月9日（水）に保護者さんと教職員によるワークショップを開催しました。初の試みではありましたが、お忙しい中たくさんの方においでいただき、また、貴重な意見をたくさん頂戴し、とても嬉しく思いました。改めて「二小の保護者さんさすが！」の思いを強くしました。

今回行ったのは、KPT法による付箋での共有です。K… Keep(学校の取組や子どもたちの「よくできているな」「いいな」) P… Problem(学校の取組や子どもたちの「課題」「問題点」) T… Try(学校で、PTAで、家庭で、地域で、町で「こんなことをしたら」)といった3種類の付箋を活用しながら、活発に話し合いがなされました。

出された意見をいくつか紹介します。



### 【楽しい学校・がんばる子ども】

- 子どもたちは楽しく登校している
- 子どもが学校の様子を喜んで話してくる
- 子どもたちはみんななかよし 子ども同士が仲がよい 男女問わず仲がよい
- 素直さはそのままいてほしい

### 【保護者・地域の協力体制、連携】

- 地域の人々の協力 触れ合い 温かさに感謝
- 先生方が親の顔を覚えている
- もっと人材を活用できるのでは(さいほう、ミシン、自然) 人材バンクを

### 【先生方】

- 先生方の熱意 子どもたち一人一人に対して手厚い
- 先生方がやさしく、子どもたちと仲がよい
- コロナもあり、先生と親とのコミュニケーションが難しい

### 【教育資源、教育機器の充実】

- 毎年のメンテナンスで校舎がきれい
- 農業体験ができる 物、人などの資源が豊か 教育に生かせる
- 合奏すばらしいのに楽器が古くて傷だらけ。新しくしてあげたい
- 校舎が広くお掃除が大変 雑巾がけ
- 田植え、稲刈りなど、二小オリジナルのお米作り。子どもたちが保護者の方にふるまうみたいな授業もあり。

### 【少人数】

- 個別に対応できる人数であり、一人一人よく見てもらえる
- 全校生の前に立つ経験が多い
- 自主性、自分で解決する力
- 少人数すぎて刺激が少ない
  - 異学年交流も積極的に行えるとよい
  - 小との交流を少し増やし、固定化している人間関係をもっと広げる
  - 時には「待つ姿勢」「どうしたらいい?」「問い返し法で」

### 【ICT活用、メディアとの付き合い方】

- 教育機器の充実（タブレット、電子黒板、デジタル教科書）
- タブレットの使用すばらしい
- メディアとの付き合い方
  - 情報教育を充実させていく（使いながら考えられるように）
  - 学校と保護者と子どもと一緒にICTを考える

### 【プリント】

- プリント配付が多すぎて、必要なものか不必要なものか分からない
  - コドモンに一本化（ICT機器の活用）データ化 ペーパーレスに

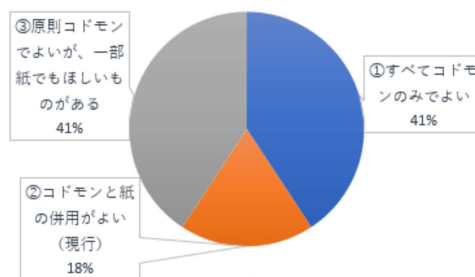


※ 今回の話題に上がったことで、今後の学校からの配付文書についてのアンケートを実施させていただきました。

27名からのご回答をいただき、①「すべてコドモンのみでよい」が11名、②「コドモンと紙の併用がよい（現行）」が5名、③「原則コドモンでよいが、一部紙でもほしいものがある」が11名という結果でした。

この結果を参考に職員会議の議題とし、近いうちに方針をお伝えできるようにいたします。

### 今後の学校からの配付文書について



上記はごく一部の抜粋となります。この他にも記載していただいたことは興味深い内容ばかりでしたので、保護者の皆様へは、コドモンにてワークショップ記録を配信いたします。

今回開催して一番嬉しかったのは、コロナ禍でこれまで保護者の皆様と教職員でコミュニケーションを取ることができなかったのが、ようやくこうして話すことができたことです。参加した保護者さんから「楽しかった」の感想をいただき、こちらこそという感謝の気持ちでいっぱいになりました。

次年度以降でこういった機会がある場合は、またたくさんの保護者の皆様にお越しいただければと思います。

## 戦略会議室？

ワークショップでいただいた付箋が貼られた模造紙は、磐梯二小をより魅力ある学校にしていくためのアイデアが満載で、とても貴重なものです。

そこで、校長室の壁に掲示して、ことあるごとに読んでいます。そして、入室してきた職員と「これ実現できないかな?」「これを行うとしたらどう?」と話題にしては、戦略を練っています。

保護者さんと話すだけでも楽しかったのですが、これらをぜひとも生かしていきたい!と気持ちが高まっているところです。

